



新宿区議会 羊平レポート

自民党区議団ニュース
平成27年1月 Vol.6
新宿区議会議員 桑原 羊平

昨年は4回の定例会で1回の一般質問と予算委員会、決算委員会に入り、質問をしました。また、決算委員会では副委員長も務めさせて頂きました。そのまとめのレポートです。

私たちの住む新宿は高層マンションや地下通路などで土地を高度に利用しており、また昼間人口と夜間人口の差が3倍弱になっている正に都市型の街であります。都市型の街として防災、保育園・子ども園の待機児、高齢者福祉、自転車など様々な問題が出ております。一つ一つに自民党として積極的に取り組み、安全・安心のまちづくりの整備に向けて頑張っ参ります。

予算委員会での質問概要

- ・ 現在6割以上がマンション居住世帯である新宿は居住者名簿の作成や大規模修繕、地域コミュニティなどの問題にどのような取り組みをしていくべきか。
- ・ 消防法などに不適格な脱法ハウスについて
- ・ 24年に計画した新宿区災害時要援護者支援プランについて
- ・ 中学生の地域防災訓練への参加について
- ・ AEDの設置場所や消火栓の配置場所の案内について



決算委員会での質問概要

- ・ 放置自転車や駐輪場などの自転車問題について
- ・ 西新宿五丁目再開発に伴う青梅街道の通行量の増加について
- ・ 水銀灯などのLED化について
- ・ スポーツ施設等の受益者負担について
- ・ 個人情報の取り扱いと行政データの活用について



特に西新宿五丁目再開発に伴う青梅街道の通行量の増加については2年後の問題でありますし、現在も問題になっておりますので検討しなくてはなりません。交通対策課長の答弁に「西新宿五丁目の再開発による歩行者動線の対策についてですけれども、現在、朝夕の通勤時間帯に、青梅街道の北側歩道が新宿から中野方面に向けて歩行者動線の渋滞が起きているということの認識はございます。今後、西新宿五丁目の再開発の人口増加により歩行者渋滞が起きるのではないかと御指摘ですけれども、歩行者がスムーズに移動できるように、今後、警察や周辺ビル、関係者と協議をしていきたいというふうに考えております。」との返答を頂きましたので、しっかりと取り組んで参りたいと思います。



第4回定例会での一般質問

歴史博物館から見た新宿区の文化行政について

(問) 歴史博物館における所蔵資料の活用について

(答) 所蔵資料は区民共有の財産であり、新宿区の歴史・文化の普及啓発を図るため、効果的に活用することこそ意義があると考えている。年4回の所蔵資料展の開催に加え、区内の小中学校への資料貸出や出張授業、区役所や地域センターにおける出張展示の実施等により、活用機会の拡大を図っている。

(問) 区民の、所蔵資料のこれが見たい、展示してほしいなどの多様なニーズを知る工夫について

(答) 所蔵資料の区民にとっての「見える化」についても、新宿未来創造財団のホームページで対応していく。

(問) 今後、どのように文化行政に取り組んでいくのか。

(答) 文化・芸術がまちの重要な要素となっており、今後も新宿に残る土地やまちの記憶を収集・保存・調査・発信等することによって、区民や来街者と広く共有するとともに、新宿区の持つ歴史や文化の活用により、更なるにぎわいの創出や、区全体の魅力向上に貢献していけるよう努めていく。

以上

☆何かご不明な点は下記までご連絡をお願いします。

～ 新宿区議会議員 桑原 羊平 連絡先 ～

○事務所：〒160-0023 新宿区西新宿8-1-8

○TEL：(03) 3363-1526 FAX：(03) 3369-1592

ご協力お願い致します！

桑原羊平の活動は皆様のお力によって支えられています。

是非ともご協力をお願いします。

- ポスターの掲示場所をご紹介下さい
- 新宿区内の知人、友人をご紹介下さると心強いです
- 地域イベントの情報をご連絡頂けると嬉しいです
- 地域支援者の訃報などのご連絡があるとありがたいです
- 自民党員募集中です

